



東京ふる里岩内会会報

■発行 日 東京ふる里岩内会
 ■発行 日 2023年10月1日
 ■発行 者 和泉 剛
 ■編集 者 松代洋子
 ■住 所 埼玉県川口市桜町
 5-7-19
 ■電話・FAX 048-281-0039
 ■メー ル : hockeydf24@gmail.com

楽しい今日と、明るい明日が見える

No. 33 / 2023



コロナでもつたいたないことをした 3年間を取り戻しましょう！

東京ふる里岩内会 会長 和泉 剛

今年も無事に岩内会会報(33号)の発行が出来ました。寄稿頂いたみなさん、ご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。

令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症は未だ収束の気配はないものの、当初の「感染したら死に至るとにかく恐ろしい感染症」といった未知の恐怖から、その内容がわかりつつあることやワクチンの普及、治療薬の開発によって対処の仕方が徐々に判明し、令和5年5月から「5類感染症」へ移行されたことですっかり新型コロナウイルス感染症は過去のものという雰囲気ではあります。感染しないにこしたことはありません。会員の皆様どうかご自愛頂きこの難局を乗り切ってくださいと願っています。また、来年(令和6年)は岩内会の創立45周年にあたります。皆さんで盛大に祝いたいと今からワクワクしています。

○3年ぶりに総会を対面で開催しました

新型コロナウイルス感染症がまん延したことから第42回総会(2020年)及び第43回総会(2021年)は中止せざるを得

なかつた岩内会総会は令和4年11月に3年ぶりに開催することができました。その間、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発せられたことから、岩内会の多くの方は外出自粛する生活が普通になり従来に比し参加者は少ないものとなりました。しかしながら、岩内町からは木村町長、岩内高校OB会長福嶋氏、札幌からラジオパーソナリティーで活躍中の岡島良江さんが駆け付けてくださり、岩内に溢れた総会を開催することができました。今年に完全に従来スタイルの総会・懇親会に戻す予定ですので会員の皆さんにもお出かけ頂き親交を深めたいと思っております。

○後志のふるさと会との合同イベントを計画しています

後志には私たちの岩内会以外に①東京小樽会(成田会長)②東京余市会(毛利会長)③東京くつちゃん会(高木会長)④東京ニセコ会(菅原会長)⑤東京ふるさと共和会(菊地会長)があります。岩内会は従来から各ふるさと会と親交を重ねてきました。新型コロナウイルス感染症により失われた3

年間を取り戻すこと、自粛生活に慣れたことで前述の通り、すっかり出かける機会が減ってしまった会員の皆さんも多しと考え出かけるきっかけになればと思います。後志の各ふるさと会で年に一度程度合同のイベントを開催できないものか模索してきました。各ふるさと会とのコロナ後の行事の参加者が減ることが予想されることもあり実現に向け進みだしたところです。詳細が決まった段階でご案内いたしますのでどうかお楽しみにお待ちください。

○憧れるのをやめましょう

ご存知の方も多いと思いますがこれはWBC(ワールドベースボールクラシック)で大谷翔平選手がアメリカとの決勝戦前にチームメイトを鼓舞した言葉です。今年の新語・流行語大賞はもうこれで決まったような気がします。

6月に公開された映画「憧れを超えた侍たち」世界一への記録」を鑑賞した。テレビでは見られない裏側にまでカメラが入り興味深い映像でした。特に韓国戦で右手小指

を骨折した西武ライオンズ源田選手はけがの後ダグアウト裏で医師の手当てを受けるシーンは今回初めて見ることで代表選手のプライドを見た気がしました。国を代表して戦う選手には凡人には計り知れないプレッシャーがかかるものではないでしょうか。私が知る限り、岩内出身のアスリートで日本代表となったのは、メルボルンオリンピック自転車競技大沢鉄男氏、シドニーオリンピック、アテネオリンピックレスリング銅メダリスト田南部力氏、アイスホッケーワールドカップ日本代表橋本僚氏がおられます。岩内は芸術の街と言われますが日本代表を輩出するアスリートの町でもあるんですね。



3年ぶりに集まった仲間たち



新たな産業の創出を進めています

岩内町長 木村 清彦

東京ふる里岩内会の皆様。いかがお過ごしでしょうか。

こちら北海道は、四季の中でも一番過ごしやすい季節を迎え、私の執務室は心地よい風を受け、窓からは紺碧の日本海、カラッとした澄み渡る青い大空の下に積丹半島から雷電の刀掛岩までの水平線を眺めながら、執筆しております(6/26)。

ご承知のとおり東京ふる里岩内会は、昭和54年11月に創立され、歴史ある「岩内町」とともに長い年月を経て、今日まで会員相互の親睦と連帯に努められ、また、令和元年11月からは「岩内町観光大使」として郷土の発展のため、会員の皆様には「ふる里岩内」に深い想いと物心両面にわたるご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

令和元年10月、「健やかなまちづくり」を目指して、4つの決意の下、岩内町長に就任し、早いもので今秋には、1期目の任期が満了となります。就任間もなくの翌年2月には、日本社会全体がこれまで経験したことのない未知なる新型コロナウイルスとの戦いの中の船出でした。

こうしたコロナ禍においても、令和3年6月に策定した町の最上

位計画である「岩内町総合振興計画」に基づき、私の基本理念を実現すべく、町民の笑顔とエネルギー源として、日々職員と一緒に汗を流しております。

さて、町の現状といえますと、少子高齢化や人口減少が進み、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高により厳しさが増す中でも、東山地区(旧みどりヶ丘団地跡地)に新たな「いわない東保育所」と「地域子育て支援センター」を本年4月に開設し、光照寺向かいの高台地区(旧中央小学校跡地)には「施設一体型義務教育学校」の令和8年4月の開校を目指すなど、地域の宝である子ども・子育て支援の強化を進めております。

また、海とともに育ち、歴史的資源が豊富である本町にふさわしい産業の創出・育成を推進するため、トラウトサーモンの養殖試験をはじめ、ストーリー性を有するビールの原料となるホップやホワイトアスパラガス、地元酒米の試験栽培など、生産から販売まで関係者との連携を深めながら、地域の強みを活かしたブランド価値の創造を構築しているところであります。

7年後の2030年、北海道新

幹線が札幌まで延伸されます。車で30分程度で俱知安駅から新幹線に乗り、東京駅や大宮駅から乗り換え1回でふる里 岩内町と結ばれます。また数年後には、隣町、共和町のインターチェンジにより札幌都心部まで約30分程度短縮され、アクセスが格段と便利になります。

本町を取り巻く環境も、今後数年の間で高速交通インフラの整備が一層進み、人と物の流れが大きく変わろうとしています。

こうした時代の流れに遅れないよう、何事もスピード感を持ち、これまでの先人達のためなめ努力と郷土愛により育まれてきた貴重な財産を、私たちは自信と誇りをもって後世に引き継がなければなりません。

どうか、会員の皆様には、今後「ふる里岩内」に対し、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、東京ふる里岩内会のご発展、会員皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

追伸…11月に開催される総会でお会いできることを、楽しみにしております。

東京ふる里岩内会 令和5年度役員名簿

会長 和泉 剛

副会長 下田 和房

事務局長 尾上 洋子

理事 高松 興禪

住吉 義弘

相原 正利

今井 慶範

谷口 弘達

中村 力子

中村 健志

野村 健志

長谷川 弥座

吹田 久良

本村 和也

渡邊 忍

納谷 真二

北海道常駐 辻 博行

名古屋常駐 泉 晃子

大阪常駐 壁 治己

監査役 鈴木 金三

名誉顧問 木村 清彦

中村 尚武

伊藤 達哉

佐藤 幸一

川端 健一

大石 浩之

顧問 大石 浩之

岩内町の明るい話題

トラウトサーモン事業への

チャレンジ！

令和3年2月に町と青森県のオカムラ食品工業(株)、日本サーモンファーム(株)の3者で包括連携協定を結び、トラウトサーモン事業へのチャレンジがスタートしました。昨年12月には日本サーモンファームが青森県で育成している700g程の幼魚5000尾を岩内港内に設置した直径20m、深さ4mの生け簀へ収容し、北海道

の極寒の冬でも自動給餌器が正常に作動するなど試験養殖を開始しました。現在のところ順調に成長しており、本年6月下旬頃に3kg超えのトラウトサーモンを初水揚げする予定です。

今後は、陸上でのトラウトサーモンの卵のふ化から幼魚育成までの一連の養殖事業にもチャレンジしていきます。近年では、市場での漁獲量や魚価が安定せず、電気料などの物価高騰も重なり、水産加工業者は大変厳しい状況となっていますので、このトラウトサーモン事業が起爆剤となってくれることに期待しています。

いつか、皆様にも高品質な岩内産のトラウトサーモンをご賞味いただけるよう、頑張りますので、楽しみにしてください！

地酒造りへのチャレンジ！

岩内初の酒米栽培に携わった150年以上続く農家の4代目、若林善廣さんの協力により、町では新たな地酒造りに挑戦して3年目を迎えました。昨年の酒造好適米の彗星は「粒が揃っており精米時にも粉砕が少なく素晴らしい品質」と田中酒造の評価はとて良好でした。岩内岳の伏流水を使った「山」は、純米大吟醸酒として精米歩合45%と以前よりも更に磨

き上げながら、フルーティーな吟醸香を引き出すよう酵母を変更しました。岩内海洋深層水を使った「海」は、純米大吟醸酒から精米歩合を60%の純米吟醸酒へ変更し、食中酒として冷酒から燗酒まで楽しめるスッキリ辛口に仕上げました。これまでとは一味違った「山」「海」をご賞味いただければ幸いです。

ふるさと納税の倍増への

チャレンジ！

令和4年度の「ふるさと納税」は、水産加工品の返礼品数を伸ばすことを目標として、対前年比で件数では23.8ポイント増の6,967件、金額では8.1ポイント増の1億3,761万円という結果になりました。寄附件数の1〜3位の返礼品は全て「塩数の子」の商品となり、岩内の水産加工品を全国へPRすることができました。

このふるさと納税は、地元製造業の直接的な経済効果のほか、寄附額の一部は町の貴重な財源として様々な事業に活用することができます。

そのため、町ではふるさと納税の躍進を目指し、倍増超えの3億円を目標に、新たな返礼品の発掘や魅力ある商品づくりのほか、主力となる水産加工品を充実していきます。

ぜひ、皆様からも周りの皆様へ岩内のふるさと納税をご覧になっていただくようお願いをよろしくお願いします。我が町のチャレンジに皆様のお力添えを！

「心のふるさと」懐かしの町岩内

名古屋市在住 岩高昭和33年卒 藤田弘子

私の生まれは函館市。太平洋戦争が激しくなりました1945年3月、現在は共和町だと思いますが当時の岩内郡前田村梨野舞納で農業を営んでおりました祖母の弟を頼り縁故疎開で参りました。そのため食料には何不自由はありませんでした。その後岩内へ引越し東小学校、第一中学校、岩内高校と子供時代を過ごしました。春は円山、秋は雷電方面と風光明媚な環境で人情も厚く楽しい思い出ばかりですが忘れることが出来な



いのはご存知昭和29年9月26日の大火です。
水上勉さんの飢餓海峡でも有名になった洞爺丸遭難事故。伯父が国鉄に勤務していましたがたまたま幸いにも非番で難を逃れ、マスクもない時代子供心にとても不安に感じたものです。当時はまたニシンが豊漁でしたので知り合いの所へ行くと沢山貰えました。助宗とか紅葉子とかおいしいものばかりでした。今、居を構える名古屋ですと北国の新鮮な品はなかなか入手できません。またいつか元氣なうちに岩内を訪ねたい思いでいっぱいです。

コロナ禍を乗り越えて

私は、昭和二四年（一九四九）一月に岩内町万代で出生し、学校は高台小学校、一中、昭和四二年（一九六七）に岩内高校を卒業しております。

卒業間もなく警視庁警察官になるため上京しましたが家族、同級生に岩内駅で盛大に見送られ、これは途中で逃げ帰れないと思ったことを今でも良く憶えています。家族は、岩内消防署に勤務する父、家事専業の母と子供五人で父は世話好きな人で自治会長などをしております。警視庁では四二年間勤務し、主に少年事件を担当しましたが平成

相模原市在住 岩高昭和42年卒 上岡久司

二一年（二〇〇九）に定年退職しております。

実家では、母は106歳まで夫婦と暮らしておりましたが、今

は施設で先日108歳の誕生日を迎えたところです。

さて、二〇一九年に中国の武漢で発生したといれるコロナ、日本では二〇二〇



年二月横浜港に入港したダイヤモンドプリンセス号の時期から、まさかのよなパンデミックになるとは予想すらできず、

岩内会の総会も中止になるなどの残念な結果でした。

このようなコロナ期間中は誰しもマスク使用など不自由な生活を送った訳ですが、ようやく本年五月八日以降は元の生活に戻り、コロナを過大に恐れず今迄の三年分を取り戻そうと思っております。皆様は、いかに過ごさかったですか。

岩内では、伝統ある岩内祭、怒涛まつり等の祭典や諸行事が何ら制限なく行われることを楽しみにしていることと思います。

私は、東京ふる里岩内会の会員になって三〇年近くなりますがコロナ禍を乗り越え、今後も皆様と共に故郷・岩内を大切にしたいと思っております。

ふるさと岩内の思い

私は今、国土交通省の管轄する国立研究開発法人で研究者として仕事をしています。もはや定年間近ですが、水中の建設用ロボットや港湾のコンテナターミナルの高度化について研究させて頂いています。

私の父は西小学校、母は島野小学校の教員をしており、祖父は竹の湯を経営しておりました。父母の島牧村への転勤により、四歳か

ら岩内を出しましたが、ほぼ毎週実家の岩内へ帰り、ふるさと岩内の思いは強いものがあります。

竹の湯に居て、子どもの足でも歩いて買物ができ、隣には映画館もあって、私にとつての「都会」の暮らしのイメージはこの時に形成されたと思います。まだ岩内線もあったので、母の実家の函館にも岩内駅から行ったことを覚えて

相模原市在住 令和4年2月入会 吉江宗生

小樽に引越した先はいわゆる住宅街でしたので、圧倒的に大きな街なのに、暮らしては私の都会観からほど遠く「バスに乗って街に買い物に行く」ものでした。全国の中小都市でも商店街が弱くなり、不便は進行しています。

岩内にフェリー航路ができた時は本当にうれしく思いました。廃されたのは残念ですがまだ

チャンスあると思っています。それは共和、寿都、島牧、羊蹄山周産物の集散地としてのポテンシャルを持つからです。地図をじつと見れば、そうした希望が湧いてきます。

コンパクトでぎゅつと何でも集まって、便利で楽しい岩内の復活を願っております。

私の故郷・岩内町と映画館

私達の子供の頃に比べると今は娯楽が増え、それと共に映画館の数が全国的に少なくなってきました。レンタルビデオ店も最近はあまり見かけなくなり、アマゾンプライムなどの動画配信サービスの利用が主流となってきました。でも、映画館の迫力のある音響と大スクリーンで見る映像は格別なのですが・・・。

私が小学生の頃、岩内には3つ映画館があったと記憶しています。東栄劇場と万生座、遊楽館です。もっと小さかった頃には二葉座もあったようです。親に連れられてチョンマゲ姿の侍が出てくる時代劇を見に行ったのをぼんやりと覚えて

東栄劇場とは高校生の頃に縁があり、週2回程度ですが授業が終わってから映写アルバイトで3年間お世話になりました。当時の映写機はフィルム方式で（今はデジタル方式が多くなっている）映写室に2台設置されており、それらを交互に稼働させて上映します。

アルバイトの主な仕事はフィルム巻（1本の映画で5〜7巻ぐらい）を2台の映写機に順番にセットすること、映画と映画の間で照明を付け、音楽を流すことです。もちろん、私も映写室の小窓から上映中の映画を見ることができました（笑）。ソフィア・ローレンの「ひまわり」、マーク・レスター

ズの「レット・イット・ビー」など、今でもそのスクリーン映像が目につく映画が多

くあります。東栄劇場は、私が高校卒業後に閉館となり、その近くに規模縮小してニューシネマが新設

され、上映が続けられていましたね。しかし、残念ながらここもすでに閉館と聞いています。帰省の際、東栄劇場の跡地のあたりを通る度に、当時の「映写技師の私」が懐かしく思い起こされます。

取手市在住 岩高昭和49年卒 三浦寿幸



子供と一緒に岩内町のお祭りに参加し楽しむことが今の私の夢です

川崎市在住 平成30年入会 倉谷佳伸

私は岩内町の隣町共和町出身ですが、岩内町には数えられないほど様々な思い出があります。

まず、思い浮かべるのは毎年7月に行われているお祭りです。岩内神社坂に色鮮やかに並ぶお店は輝かしく迫力があり、時には怖い思いをしたなんてこともありましたが、あのドキドキワクワクさせてくれる気持ちは今も鮮明に記憶しています。毎年遊びに行っていました。

そして2つめですが、岩内高校時代所属していたラグビー部です。実は私が入学した頃は部員0名の

マネージャー1名という廃部寸前の状態だったのですが、なんとか12人ほど集まり、さらに試合の度に他部から助っ人に入ってもらい、なんとか試合できる状態にこぎつけてきました。正直試合を行えるのが一杯でしたから、決して強い部ではありませんでしたが、人数が少ないながらも頑張っていた毎日の走り込み、地獄の合宿、歯が折れた記憶などは忘れてたくても忘れることができません。

私は現在仕事の関係で北海道を離れ神奈川県在住です。東京で参加した北海道フェアで縁があり東

京ふる里岩内会に誘って頂きまして、関東で地元の方々とお話できるのは大変嬉しく思います。昨年は懇親会にも参加させて頂き、

地元の情報を交換したり、岩内大火を経験された方がいらつしやったり、ラグビー部が北海道大会で優勝したときの方などこんなにも岩内町にゆかりのある方々がいるんだと驚かされました。そして大変有意義



な時間を過ごすことができました。主催して頂いた和泉会長を始め関係者の方々には大変感謝しています。最後になりますが、私にはもうすぐ1歳になる子供がいます。いつか子供と一緒に

岩内町のお祭りに参加し楽しむことが今の私の夢です。それまでは北海道や岩内町の良さを伝えていきたいと思えます。長文お目通し頂きありがとうございます。ありがとうございました。

日本アスパラガス(株)様との思い出

館林市在住 岩内会理事 吹田久良

昨年の岩内会総会・懇親会が11月12日3年ぶりに開催されました。その際に来賓として岩内高校同窓会の福嶋会長も上京しご臨席くださっていました。

福嶋会長より岩内町の近況報告の一つとしてご自身が監査役を務めておられる日本アスパラガス様岩内工場で最後に残っていた缶ラインが11月で稼働停止するとのお話がありました。缶ラインは千歳工場へ移転して稼働することになったが、岩内工場での飲料製品製造は無くなり閉鎖することを聞

き寂しさを感じております。

個人的にはこの日本アスパラガス様との思い出がいくつかありご紹介させて頂きます。尚、昨年の岩内会会報にも自己紹介させて頂きました。私は北海道製缶で約15年勤務した後、子会社の日本キャンパックへ出向、転籍して定年を迎えました。日本キャンパックは日本アスパラガス様と同様の飲料受託会社で、群馬県明和町に工場があり私は品質管理や生産部を担当しておりました。

思い出の一つは平成7年(19

95年)頃の出来事です。私の父親と尾崎社長が知り合いだったらしく、息子さん(私)岩内に帰ってこないかなと言われたという話があったそうです。タイミングが合わず実現しませんでした。もう少し早く聞いていれば人生変わったかなとも思っています。

二つ目は平成29年(2017年)頃の出来事です。定期的に岩内に帰っておりましたので、日本キャンパックでの経験を活かして何かアルバイトできないかなと思

いでいただいたことがありました。可能性は少ないと思いますが、岩内工場の復活ができればうれしく思いますし今後は千歳工場、日本アスパラガス様の名前が永久に続くことを願っています。



収穫体験と芋煮会

所沢市在住 副会長 高松 庫雄

北海道では「ジャガイモ」を芋と言いますが、関東では「里芋」のことを指します。

五月の連休の頃に種芋を植え、収穫は十月下旬頃から十二月上旬で我が家の煮物には必要な食材です。

私の妻の実家は「茶葉」生産農家でしたが、お茶の木を整理し野菜を作る畑にしました。畑作業は二月下旬頃に始まり十二月中旬まで、次々と芽吹き大きくなる草との戦いです。作物は主に自家で消費する野菜ですが、多く収穫でき

る根菜類は兄弟や友人に、また近くの友人を招いて農作業体験をした後食事会をして楽しんでおります。

この事を岩内会役員に話すと里芋の収穫体験と芋煮会をしたいと要望があり、十二月三日(土)に行いました。

十二月の下旬は天候が安定し風もなく絶好の農作業日和でした。近くのスーパーで芋煮の食材を買い揃え、作業体験です。里芋を掘り上げると親・子・孫芋に分別されます。松代・住吉・壁さんが長

靴に軍手、タオル姿で掘上り分別まで楽しみました。

その他、長ネギ・白菜の収穫を体験しいよいよ「芋煮」作りです。

(注：芋煮は牛肉と醤油を、豚汁は、豚肉と味噌を使用します。)松代さんが腕を振るって「芋煮」を作る間中、男性たちはテーブル準備して待ちます。芋煮を食しながら、これからの「岩内会」の事を懇談し楽しいひと時を過ごしました。「また来年も」と声掛け合い重いリュックサックを背負って帰宅しました。

芸術の街岩内と私

Ochiro(オチロ)です。私はモンゴルで生まれ、10歳の時に岩内に来ました。

岩内で日本語を学び青春を過ごしました。そして、現在東京で現代アートの画家として、活動しています。

その芸術との出会いも岩内高等学校でした。もちろん顧問の先生が最高だったこともありですが、海も山もある自然環境や、小さな町に美術館が二つもあるということが私を芸術の世界に誘った影響があったと思います。

そんな自分は今は芸術で少しで

世田谷区在住 令和4年11月入会

Ochiro

も多くの方に元氣とパワーを与えるために、一生懸命戦っておりま

す。毎年、岩内の木田金次郎美術館で小さき展示をさせて頂いていま

す。今年(2023年)も7月と8月にロビー展示させて頂いたいただき、さらに現在もやっている木田金次郎美術館の企画展示(11月5日)の「木田金次郎と岩内美術100年の水脈」にも参加させて頂いております。

そんな自分からみた「岩内」は、2002年に初めて岩内に来て、

以来見てきた約20年。

人が減り、閉まつてる店も増え、とても弱つてるように見えます。

もっと人が増えてほしいし、活気溢れてほしいと願っています。

コロナが少しは落ちつき、イベントなども戻ってはきますがもつと人を呼ぶ何かな必要気がします。そこで私は、いつか芸術の岩内だからこそ、大きめのアートと音楽の芸術祭をやりたいと切に願っています。

その時のためにも、自分にもつと大きなパワーが必要です。なので、現在は少しずつではあ



りますが、芸術の世界で戦い、鍛えてる段階です。

私も含め、岩内の未来のために岩内出身の夢追いの若者達の応援を是非ともご協力願います。

会員の皆さんから届いた近況（令和4年）

会員相互の交流に資するよう事務局にご連絡を頂いた方々の近況をお知らせします。

（到着順/敬称略）

No.	会 員 名	お住まい	近 況
1	泉 晃子 ※1	大阪府堺市	お世話になります。ふる里「いわない」が枯れぬようささやかですが支えていきたいと思っております。お仕事も元気に続けております。
2	京田 健治 ※1	新宿区	会幹事の皆様お世話様でございます。会長の表題「なんともあずましくない時代になったものです」みごとな感性です。12/4前後久しぶりに札幌へ
3	田丸 セツ子 ※3	船橋市	たくさんのふるさとの資料を拝見し懐旧の想い一入でした。27歳で岩内を離れ千葉県船橋市に住んで65年。心は何時も「道産子」千葉県人にはなれません。
4	小島 幸子 ※3	葛飾区	健康診断から帰宅したらポストにずっしりふるさとの便り。今までにない斬新な企画うれしく拝読させて頂きました。「いわないにきてみない？」の温泉おかえりなさいを早速予約入れ楽しみとなり有難くお礼申し上げます。
5	美辺 泉 ※2	北区	新国立美術館での展覧会の役員会の為出席できません。
6	平野 晃 ※2	市原市	沖縄での橋梁の腐食調査とスケジュールが重なってしまい今回は欠席します。岩内には3年間帰省していませんが来年こそは帰省したいと思っています。体力づくりに励んで120km/月目標で走っています
7	小川 裕子 ※2	練馬区	在宅介護（主人）をしておりますので外出もままならずしておりますが元気です。私は小樽生まれで岩内のことは分からないのですが今回送って下さった資料で知ることができました（母が岩内出身）
8	若狭 慶和 ※2	阿見町	持病を持っておりますが元気で過ごしております。岩内会のますますのご発展をお祈り申し上げます。
9	斎藤 智恵子 ※2	三郷市	会報楽しみにしています。頑張ってください。
10	押本 千鶴 ※2	横須賀市	かなりぼけていることは自覚していますがまあ健康で生存しています、久しぶりの集まり楽しみです。
11	上森 尚子 ※2	新宿区	4月に骨折しましたが回復しました。
12	吉澤 春吉 ※1	茅ヶ崎市	以前は兄弟3人で出席させてもらいましたが最近は無沙汰しています。機会がありましたら又皆様とお会いしたいと思います（44年卒）
13	久森 セツ ※1	杉並区	この度は岩内のいろいろな資料を多数送って頂き楽しく見させて頂きました。
14	家野 加寿子 ※2	豊島区	まだ電車の乗り間違いをしないで行けそうなので楽しみに出席させて頂きます。
15	長田 涼子 ※2	川越市	5月に右腕を骨折し車椅子生活になりました。
16	竹内 ミユキ ※2	横須賀市	主人有善は令和4年4月6日に亡くなりました。皆様に宜しくとのことでした。今までありがとうございます。
17	山口 武照 ※2	朝霞市	今年80歳になりました。歩行困難の為誠に残念ながら出席できません。今回の種々紙面で岩内の情景が浮かびました。
18	住吉 義弘 ※2	八王子市	皆様との再会を楽しみにしています。
19	小野 則子 ※1	八王子市	脊柱管狭窄症の悪化で苦しんでおります。
20	會津 義治 ※2	さいたま市	皆様のご活躍にいつも刺激を受けます。元気にしております。中村尚武先輩や伊野達哉君によろしくお伝えください。会の盛況を祈ります。
21	今 慶範 ※2	古河市	最近はずっくりまったりと茨城時間で土いじりです。農機具が大人（私）のオモチャです。

No.	会 員 名	お住まい	近 況
22	志尾 明洋 ※2	江東区	新型コロナウイルス感染もなく元気にしております。
23	熊谷 京子 ※1	座間市	残念ですがコロナの為今回は欠席します。
24	高橋 りょう子 ※2	国分寺市	様々な課題をクリアして頂いての折角の開催ですが既に予定が入っており残念ながら参加出来ず申し訳ありません。
25	吉澤 健治 ※2	鎌倉市	足が弱くなり独りでの遠出はままなりません。欠席させていただきます。
26	鈴木 良子 ※2	江東区	私は娘家族と楽しくやっています。孫の成長に驚くばかりです。
27	大野 るり子 ※2	茅ヶ崎市	元気にしています。次回開催を楽しみにしています。
28	中村 尚武 ※2	横浜市	会の益々の発展を祈っております。体調イマイチ来年はぜひ。
29	小林 勝喜 ※2	茅ヶ崎市	残念ながらドクターストップ中。盛会を祈ります。
30	須貝 茂夫 ※2	川崎市	岩内会の活動再開、会員との再会。これからもいろいろな際会のめぐり合いを！
31	古澤 厚子 ※2	加須市	元気でまったりと過ごしています。小・中・高の校歌懐かしいですね。
32	岡田 祐子 ※1	厚木市	ふる里の山に向かいていうことなしふる里の山はありがたきかな。石川啄木と同じ心境です
33	畑 雅博 ※2	横浜市	岩内サイクル新聞は最高の故郷情報紙ですね。成田住職、松井支局長他多くの関係者に感謝しております。
34	吉江 宗生 ※1	相模原市	物流の勉強をしています。昔、祖母の漬けたようなおいしいたくあんなど身近なものもこちらで食べられたらと思っています。
35	佐藤 美弥子 ※1	仙台市	いつも連絡ありがとうございます。総会・懇親会今年も参加できず残念です。

連絡方法 〔※1：年会費振込票近況欄 ※2：総会開催案内ハガキ近況欄 ※3：お手紙〕

新任役員のご紹介

産直部会担当理事 吹田久良

東京ふる里岩内会に入会させていただき、丸二年が経過しました。入会時期は新型コロナウイルスの真ただ中で、恒例行事等は中止の状況でした。但し、後述の様な状況で、二年目から役員の名指を受け活動しております。尚、役員には分担があり、私は産直チームの一員として北海道フェア（物産直売）を担当する事となりました。

岩内会入会時は特に知人もなく、どんな活動しているのかも良く理解していない状況でした。入会申込した数日後に、今慶範氏（茨城県古河市在住）から電話をいただきました。同じ宮園生まれで共通の知人もおり、私の現住所（群馬県館林市）で何度か夫婦で食事する機会もあり、岩内会について親近感を持った次第です。（古河と館林は車で20分位の距離です。）そんな事もあり、今氏と同じ産直チームに入り、現在に至っております。

入会時には思いもなかつた役員に推薦していただき、非常に嬉しく思っております。但し、この一年間で各種行事や役員会に出席した状況では、問題点も散見されると思っています。具体的には新型コロナウイルスによる活動停止期間後の再始動、会員皆様及び役員の高齢化、新入会員の伸び悩み等です。私は勤務していた会社のOB役員も担当しておりますので、その経験も活かしながら、会長以下役員の皆様と協力して、微力ですが岩内会の発展に努力したいと思っております。

3年ぶりの岩内会総会

副会長 高松 庫雄

令和4年11月12日(土)、アルカディア市ヶ谷にて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、参加者は岩内に関わりのある方に限定し、3年振りに開催いたしました。

和泉会長、木村清彦岩内町長の挨拶に続き、令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画、役員の変更と選任の説明を行い、総会議案の全てを承認頂きました。

懇親会は、岩内高校OB会会長 福嶋尚之様の乾杯を頂き、しばし 歓談の後、参加者一人ひとり自己紹介、岩内との関わり及び、近況報告と抱負を頂きました。

少人数での開催でしたが、和やかなうちに懇親会を終え、最後に全員で「ふるさと」を合唱し、来年も「必ず会いましょう」と誓い閉幕しました。

産直フェア開催しました

産直担当理事 今 慶 範

昨年(令和4年)の産直フェアは9月29日(木)〜10月2日(新

型コロナ蔓延の影響により3年振りに開催でした。

期間中は好天に恵まれ、開場とともに、家族やカップルらが、岩内の特産品を手に取り、好みの特産品を買い求め、最終日を待たずして完売となり盛況のうちに終了することが出来ました。



特に今回は、海産物11品とチーズ大福の計12品目と絞り込み、ふる里岩内を十分にPRすることが出来ました。販売スタッフの皆さん、応援に駆けつけて下さいました会員の皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。今年の産直フェアは、

3年ぶりに新年会開催

副会長 住 吉 義 弘

令和5年2月4日松尾ジンギスカン赤坂店にてコロナ禍以前よりはやや少なめの26名の参加を頂きました。やはり3年間のブランクと高齢化によるものでしょうか。早く以前の様に戻って

もらいたいものです。当日は高松副会長の乾杯の音頭が始まり皆さん喉がカラカラのようでピッチが早かったですね。和泉会長の挨拶に耳を傾



代々木公園B地区イベント広場にて、9月28日(木)〜10月1日(日)の4日間開催予定です。会員の皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

4年ぶりに観桜会を開催

事業部会 本村 和也

2019年以来の4年ぶりに開催された観桜会は、好天にめぐまれた新年度4月1日に行われ9名が参加しました。JR市ヶ谷駅地上改札に11時に集合し、靖国神社にむかいました。桜の花は見事なピンク色で、枝垂れ桜は美しい景観を作り出していました。

りに広がる桜並木が壮観でした。参加者たちは花見の雰囲気になれながら、おしゃべりを楽しんだり、写真を撮ったりしてリラックスしました。

メンバーたちは花の美しさに感動し、写真を撮りながら、桜を見上げながら散策しました。次に、千鳥ヶ淵公園に移動しました。こ

花見の後は、松尾ジンギスカン赤坂店で懇親会を行いました。おいしい料理と美味しい飲み物が用意され、参加者全員楽しいひとときを過ごしました。笑い声や乾杯の音が店内に響き、花見の喜びを共有しました。



からひと言づつ出身地等自己紹介をして頂き距離がグッと近くなった気がしました。大変良かったと思います。事業部として今後共魅力ある行事を奮闘計画して参りますので体調等ご都合の許す限り足を運んでください。お待ちしております。

東京ふる里岩内会の観桜会は、久しぶりの再会と桜の美しさに包まれた素晴らしい時間でした。参加者全員が笑顔で終始和やかな雰囲気の中で過ごし、思い出深い花見となりました。

道産子

元東京ふる里岩内会会長 中村尚武

下駄箱を掃除していたら、突然新聞紙に包まれた赤錆た蹄鉄が出てきた。かつて、家に飼われていた道産子の蹄に装着されていた金具で、手に取ると、その重みが遙かの記憶を呼び戻した。

(病馬)

日中戦争は太平洋戦争へと拡大していた。海を越え地鳴りを伴った吹雪が建物を揺さぶる。加えて、先刻から玄関の戸を激しく打ち叩く音がそれに加わる。病馬発生の報せである。雪まみれの糞に、手拭で頬つかぶりした農夫が声を震はせ忙ただしく経過の説明をした。昨夕から今朝方にかけて、飼馬が小屋の仕切棒を押し倒し、供出用にと確保していた米俵を喰い破り、暴食、腹部飽満、為に襲う苦痛にたまたまず転倒、横臥の状態で吐く息は荒いという。緊急事態である。農家にとつてかけがえの無い働き手の喪失は即生活破綻を意味する。老いた農夫の恐怖が身体を震えを倍加する。

父は直ちに往診用のリュックを取り出し、手早く聴診器、注射

器、浣腸、瀉血器具を積み込み、隣地の馬小屋から家の道産子を曳き出す。鞍を腹帯で緊結、鍔の調整、口輪をかませて手綱をとる。いつの間にか、且つて軍用犬だったシエパード種のロン号が先頭に暗闇の吹雪に耳を立てて合図を待つ。父の軍歴は永く、加えて無類の動物好きの獣医師であった。

(道産子)

北海道の渡島地方を中心に生育された和種といわれ、いわゆる鞍馬(農耕馬乃至荷役用の大型馬)に比較、体高は二十糎程小柄であるが、性格温厚、辛抱強く、素食で力持ち、寒さには滅法強い特質を持つ。付言する一例として、江戸末期鯉豊漁期、遙か人里離れた番屋で漁期を終え、大漁の鯉と季節労働者を乗せた引揚船に馬を乗せて連れ帰る余裕はなく、道産子はそのまま雪と寒風の海岸に置き去りにされた。

彼らは野草を探し、雪を喰み、或る場合波に寄せる流れ藻すら捕食し飢えに耐えたという。ともあれ彼らが農・林・漁業にその陸上輸送の動力源として貴重な働き手であった事を忘れることは出来ない。

中学の頃である。我々の授業

無く、弓なりの海岸線の先端に積丹岬が遠望された。近くの砂丘に群生するはまなすの赤い花が目染み、そして振り返ると馬蹄の足跡が遙か遠く続き、何故かふいに道産子への愛しさを激しく感じた。

列車と連絡船を乗り継ぎ一日

がかりの内(本州を当)時我々はそう呼んでいた)にやってくる間もなくの会話である。

「どちら出身ですか？」

「北海道です。」

「おお、道産子ですか。」



「本来的道産子の呼び名

が、いつの間にか北海道で生まれ育った人の呼び

名に代わって通用してい

る。曰く、東京生まれは

「江戸っ子」、横浜育ちは

「浜っ子」、大阪出身者を

「なにわっ子」の如くで

ある。そして何故か

「道産子」と呼ばれる

余韻に、相手方の暖かで

それでいて好意的印象を

感じたのは私だけであろうか。

首都圏は全国各地出身者の

増城である。その中で同郷の仲

間達、道内各地からやって来た

ふるさと会連合会の諸兄弟、或

いは仕事の、乃至市井の場でふ

と触れ合う同根の絆に、どれ程励

まされ慰められた事であろうか。

(母なる大地)

記録される古代土器、石器時代から、八・九世紀のアイヌ族ユーカリ文明とそれを継承する北方文化は、幕府の五稜郭での終焉以降も明治政府に引き継がれ、農鉱工水産業の目覚ましい発展に連がり、昭和から現代に至る発展の根源に脈々と流れる屯田開拓の心となり、道産子の魂を育てあげた。豊饒な大地の恵みは更なる飛躍の夢を我々に与えてくれる。一例を述べて本稿の締めくくりとしたい。

即ち現代の経済戦争の勝利者とは「産業の米」と呼ばれる半導体に関し、いかに先行してより優れたチップを研究開発し、且つ需要に対応した大量生産態勢を満足せしめるかの競走であると云う。この命題に対し、国内大手企業数社に、国策として政府も加わり、道内千歳地域に東京ドーム三十個分に相当する広大な敷地を確保、凡そ五兆円の巨費を投資して世界最先端の半導体工場建設が決定した。北海道に産業革命の烽火が上がったと云えよう。

輝かしい未来に向かつての道産子たちの住む「母なる大地」の新しい胎動の音が聞こえてくるようである。

第45回 東京ふる里岩内会総会・懇親会開催のお知らせ

東京ふる里岩内会の総会・懇親会は通常開催に戻し次の内容で開催いたします。万障お繰り合わせの上ぜひご参加下さいますようお願いいたします。

開催予定日：令和5年11月11日（土） 午前11時30分から受付

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

東京都千代田区九段下4-2-25 ☎03-3261-9921

※詳細は同封の「開催案内」をご参照ください

年間行事予定

北海道フェア出店	9/28～4日間
総会・懇親会	11/11（土）
新年会	令和6年2月予定
観桜会	令和6年3月予定
一山本関応援ツアー	東京場所随時

事務局からの お知らせ

◎当会は、皆様から頂いた貴重な年会費で運営されております。同封の振込用紙に必要事項をご記入いただき、郵便局窓口若しくはATMでお手続きをお願い申し上げます。尚、お振り込みはお早めにご対応頂きますよう重ねてお願い申し上げます。また、不明な点は事務局までご連絡いたします。

☆年会費 二〇〇〇円
☆振込番号

「〇〇一四〇一四一七〇一九〇三
東京ふる里岩内会」

☆事務局連絡先
事務局長 高松
〇九〇一六九九一六〇二〇

【新入会員】

加入時期	会員名	お住まい	岩内との関わり
令和4年11月	大塚 眞砂世	杉並区	岩高昭和44年卒業
令和4年11月	大脇 郁世	横浜市	岩高昭和49年卒業
令和4年11月	佐々木 龍二	横浜市	岩高昭和49年卒業
令和4年11月	(佐藤) オチロ	世田谷区	岩高出身画家
令和4年11月	藤田 弘子	名古屋市	岩高昭和33年卒業

代々木公園イベント 広場に集合！

今年も9月28日（木）から10月1日（日）の4日間代々木公園イベント広場において第27回産直フェアが開催されます。昨年は3年ぶり開催ということで想定以上の売れ行きだったことから今年も仕入量を増やし岩内会テントを出店する予定です。会員の皆様におかれましては現地にお越しただくか同封の予約表でお申し込み頂きふるさとのお味をご堪能下さいませようお願いいたします。

尋ね人コーナー

岩内会会員の上森尚子さんが高校時代の同級生に関する情報を求めています。岩内高校の平成元年に発行された「卒業生名簿」上では以下と記載されています。

〔卒業生名簿発行時の

ご本人のお住まい等〕

昭和33年岩内高校卒業

卒業時3年C組

高橋 健樹さん

〒04110824

函館市西桔梗町713118

〔勤務先〕函館市立大川中学校教諭

どなたか高橋さんに関する情報をお持ちの方は事務局まで一報ください。また、この岩内会会報はいろいろな方が見て下さっています。懐かしい友人の消息等調べたい方も事務局までご連絡ください。

訃報

澤井 寿一さん(88) 令和3年10月(逝去)
竹内 有善さん(87) 令和4年4月(逝去)
木下 勝さん(84) 令和4年5月(逝去)
富樫 喜作さん(94) 令和5年6月(逝去)
心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

長い間、遠かった岩内。この夏、怒涛祭りに合わせて久しぶりに訪ねて5,000発の花火に感激して帰って来た。来年は何を楽しませてくれるだろうか。